



10月18日、東京・お台場にて「第2回全国フットサル大会」を開催し、全国から各地本代表、貨物労連、選抜の計12チーム100名を越える仲間が結集しました。

大会は2グループによる総当たりのリーグ戦を行い、各グループの結果をもとに順位決定戦を行いました。どの試合共に、前回大会よりもレベルアップした熱戦・好ゲームが展開されました。特に順位決定戦ではPK戦にもつれ込む試合もあり、至近距離からのキックには迫力を感じさせるものでした。

大熱戦の結果、第1回大会に続いて北海道地本チームが「二連覇」を成し遂げました。関西地本が「準優勝」、関東地本Bチームが「3位」でした。

夕暮れに染まる頃ゲームは終了し、大江戸温泉に移動。ゆっくり温泉につかり汗を流し、疲れを癒した後に、本吉サッカー部長の「乾杯」の音頭で交流会が始まり、順位発表と表彰式を行い、賞品や参加賞が手渡されました。交流会ではゲーム談議で盛り上がり。年末手当満額獲得の闘いをはじめ秋の闘いの最中であり、貨物労組は全職場が一体となつての闘っていこうと会を締めくくりました。

またフットサル大会では、相次ぐ事故やトラブルへの信頼回復と安全確立、そして組織破壊攻撃に抗し奮闘するJR北海道労組への「檄布」の取り組みも行われました。

参加された組合員、貨物労連組合員の皆さん、大変お疲れ様でした。

大会の成績は以下の通りです。

優勝	北海道地本	7位	東北地本
準優勝	関西地本	8位	九州地本
3位	関東地本B	9位	選抜B
4位	関東地本A	10位	選抜A
5位	東海地本	11位	労連選抜A
6位	神奈川臨海労組	12位	労連選抜